



## 迎春

# 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。  
区民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日暮里・舎人ライナーの開業や汐入地区でのコミュニティバス「汐入さくら」の運行開始など、区内の交通体系が一層充実・強化されました。これに加え、区政の各分野において、荒川区基本構想で20年後の将来像として掲げた「幸福実感都市 あらかわ」の実現に向け、中小企業向け融資制度の充実、妊産婦健康診査の公費負担拡大、全区立幼稚園での3歳児保育の実施や環境交通政策の推進など、数多くの施策が展開されました。

このように区政が着実に進展した結果、昨年本区は、日経BP社が全国の区市町村を対象に実施した「情報化進展度調査」でe都市ランキング2008では第1位に、日本経済新聞社が全国の区市を対象に実施した「行政サービス調査」では第4位にそれぞれランクされております。

昨年、米国の端を発した金融危機は、わが国の実体経済にも大きな影響を及ぼし、区民の皆様の中には、将来に対する不安をお持ちの方が少なくないのではないかと推察いたします。そうした不安を取り除き、将来に展望が描けるように区民の皆様の生活をご支援することが今年の区政の重要課題であると考えております。

そのため、二期目のスタートを切った西川区長と区議会が緊密な連携の下、産業振興、社会福祉などの各分野にわたり、今日の状況に対応した効果的な施策を積極的に推進してまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
結びに、区民の皆様にとって本年が幸多い年となるようお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



議長 若林清子



副議長 武藤文平

## 議案の審議結果 平成20年第4回定例会

○賛成 ×反対 - 退席  
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)						結果
	自由民主党 荒川区議員団	公明党 荒川区議員団	日本共産党 荒川区議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	尚志会	
<b>議員提出議案(2件)</b>							
第11号 都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の継続に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	○	可決
第12号 「食の安全確保」への取り組み強化を求める意見書提出について	○	○	○	×	○	○	可決
<b>区長提出議案(44件)</b>							
第42号 荒川区環境基本条例	○	○	○	○	○	○	可決
第43号 荒川区良好な生活環境の確保に関する条例	○	○	×	※	×	○	可決
第44号 荒川区立環境学習情報センター条例	○	○	○	○	○	○	可決
第45号 荒川区区民ひろば館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第46号 荒川区感染症診査協議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第47号 荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第48号 荒川区立知的障害者支援施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第49号 荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第50号 荒川区まちの環境美化条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第51号 荒川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第52号 平成20年度荒川区一般会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	可決
第53号 荒川区立上尾久保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
第54号 荒川区立南千住さくら保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
第55号 荒川区立汐入とちのき保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
第56号 荒川区立小台橋保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
第57号 荒川区立町屋文化センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	可決
第58号 荒川区立生涯学習センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	可決
第59号 荒川区立清里高原少年自然の家の指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	可決

※ 会派で意見が分かれた。また、反対討論がありました。

(3面に つづく)

## 区議会第4回定例会

## 荒川区環境基本条例 など議案46件を可決

区議会第4回定例会が、11月28日から12月12日までの15日間の会期で開かれました。本会議の冒頭、先の区長選挙で再選された西川太一郎区長が今後の区政運営に関する基本的な考え方を述べました。その後、5人の議員から区政全般にわたる一般質問が行われました(要旨は2、3面に掲載しています)。  
本定例会では、意見書2件、議案44件が提出され、いずれも原案どおり可決されました(議案の審議結果は1、3面に掲載しています)。

## 第4回定例会日程

11月28日	本会議
12月1日	本会議
12月3日	本会議
12月5日	総務企画委員会 福祉・区民生活委員会
12月11日	建設環境委員会 文教・子育て支援委員会
12月12日	議会運営委員会 本会議

## 掲載記事のご案内

区政のことをよく一般質問  
並木 一元 議員(自民党)  
相馬 堅一 議員(共産党)  
戸田 光昭 議員(公明党)  
瀧口 学 議員(民主・市民)  
竹内 捷美 議員(自民党)  
議案の審議結果(続き)  
意見書提出  
採択した請願・陳情  
常任委員・特別委員の選任等について

4面  
新春を迎えて  
― 各会派新年の抱負 ―  
各会派の構成

# 区政のつぎをわく

## 一般質問要旨

### 区の地力を強化するための取組と隅田川堤防の安全性とスーパー堤防整備について



並木 一元 (自民党)

区の地力を強化するための取組  
区民に最も身近な基礎自治体として、地域の特性をしっかり認識し、区の重要課題に対しての立場に即した具体的な解決策を見出す調査研究機関を設置すべきと考えるが、区の見解を問う。  
質の高い施策を打ち出し、課題を迅速に解決していくために、専門的な調査研究を行う自治体シンクタンクの設置を検討しており、区の経営資源を最大限に活用できるような積極的に取り組みをしていく。

若い世代のニーズを把握し、区政に反映させることは大変重要と考えており、若い世代の意見や提言に積極的に耳を傾けるとともに、

隅田川沿岸堤防について、計画的な整備を進めていくべきと考えるが、区として沿岸全てを整備していく計画はあるのか。  
沿岸全てをスーパー堤防化する方針である。学校や公園な

西川区政二期目に当たっての基本的な考え方について  
○新たな都市計画マスタープランについて

に、これをきっかけに区政への参画につながるよう努力していく。隅田川堤防の安全性とスーパー堤防整備について  
スーパー堤防化されずに残っているカミソリ堤防といわれや高潮、地震などに耐えられるのか、その安全性について問う。  
この堤防は耐震性を高める根固めの工事の完了により、洪水や高潮、地震に対しても十分な安全性が確保されている。

隅田川は区にとって貴重な財産である。この財産の価値を高め、また安全性を向上するため整備事業の取り組みを強化し、さらなる推進に向けて、あらためて都府県に、整備促進を強く要望すべきであると考えているか。  
区としては、スーパー堤防の整備促進と沿岸全川のテラス整備について、都府県に対し、今後とも強く要望していく。

二期目を迎えた西川区政のめざすものについて  
区政は区民の安心の礎となるべきという区長の方針に同感であり、持ち前のパワーを遺憾なく発揮し、一期目以上に積極的な区政運営を期待する。政治、経済ともに混沌とした状況の中で二期目を迎えられる西川区長の今後の区政運営の方針について、特に安心の礎という観点から、見解を問う。  
区民に最も近い基礎的自治体の役割として重要なことは、常に区民の立場を立ち、真に幸福を実感できるまちを築いていくことであると確信しており、区政が区民の「安心の礎」となり、すべて

旭電化の跡地利用について  
旭電化の跡地利用について、教育文化施設という枠組みの中で検討していたが、現状を鑑み公園用地として隣接の運動施設を含め区が購入し、本格的な設備を兼ね備えた「多目的総合グラウンド」を整備することも一つの選択肢と考えるが、区の見解を問う。  
当該用地は暫定利用とはいえず、東尾久運動場多目的広場として

旭電化通りは、都市計画決定から40年以上が経過し、早期に整備を行う必要があると認識している。今後、現在事業中の都市計画道路の進捗を見極め、また、パリアフリーの観点も考慮した上で早期整備に向け努力していく。

旭電化通りは、都市計画により建築の規制など私権の制限を受けており、また、幅員が狭いため、交通に支障をきたしている。さらに補助306号線の全面開通や日暮里・舎人ライナーの開通により交通量の増加は必至である。今後の整備の見通しについて、区の見解を問う。

### 二期目を迎えた西川区政の目指すものと旭電化跡地及びその周辺整備について



戸田 光昭 (公明党)

の区民が安心して暮らせるまちを目指していく。温かみのある血の通った区政を推進し、区民が幸福を実感できるよう、全身全霊を捧げて区政運営にあたっていく。旭電化跡地及びその周辺整備について

尾久ポンプ所の東尾久浄化センターへの移設後の跡地活用を旭電化跡地と一体的に施設整備を考え、跡地活用の進め方について区の考え方を確立して都府県の連携を強化すべきだが区の見解を問う。  
この広大な跡地は都府県所有するもので、具体的な活用まで、なお十数年の歳月を要するが、限られた地域資源として、将来を見据え、区の間わり方を検討していく。

尾久ポンプ所の東尾久浄化センターへの移設後の跡地活用を旭電化跡地と一体的に施設整備を考え、跡地活用の進め方について区の考え方を確立して都府県の連携を強化すべきだが区の見解を問う。

### 経済危機のもとで中小企業支援と労働条件底上げと区民の健康を守る対策を



相馬 堅一 (共産党)

世界金融不安と経済危機のもとで中小企業支援と労働条件改善で地域経済対策を  
区内公共工事において、適正賃金の実行を確保する対策と公契約条例の制定をすべき。

法令遵守の指導を行っていく。直営・民間を含め、区に關連する労働者の賃金の底上げを検討すべきであると考えているか。

後期高齢者などの医療改革についての見解を問う  
旧保健健康の家族の方の受診率の実態調査を行い、必要な支援・助成などを早急に検討すべき。

医療制度改革は、持続可能な制度のための改革とはいえないと考えるが、区の見解を問う。  
国民皆保険制度の維持を図る構造改革は避けられないと考え、制度の改善すべき点は、国や都に強くその是正を求めていく。

介護・福祉・保育などの労働条件と賃金底上げで区民サービス

旭電化通りは、都市計画決定から40年以上が経過し、早期に整備を行う必要があると認識している。今後、現在事業中の都市計画道路の進捗を見極め、また、パリアフリーの観点も考慮した上で早期整備に向け努力していく。

旭電化通りは、都市計画により建築の規制など私権の制限を受けており、また、幅員が狭いため、交通に支障をきたしている。さらに補助306号線の全面開通や日暮里・舎人ライナーの開通により交通量の増加は必至である。今後の整備の見通しについて、区の見解を問う。

区の活力を向上し、自治体間競争を勝ち抜くためには、若い世代の方々々が希望を持てる街づく

公契約条例は、実効ある条例や制度の構築に課題があり、区としては適正な発注価格の設定や

区では、適切な価格による発注や労働関係法令の遵守指導など必要な対応を図っており、引き続き、業務に見合ったふさわしい

健康増進を図る観点から、区民の健康増進を図る観点から、健康内容のあり方など、他区状況も参考に検討していきたい。

区内の医療機関の看護師確保のため、院内保育や病児保育への要望など愛情を把握し、区としての支援策を検討すべき。

介護・福祉・保育などの労働条件と賃金底上げで区民サービス

旭電化通りは、都市計画決定から40年以上が経過し、早期に整備を行う必要があると認識している。今後、現在事業中の都市計画道路の進捗を見極め、また、パリアフリーの観点も考慮した上で早期整備に向け努力していく。

旭電化通りは、都市計画により建築の規制など私権の制限を受けており、また、幅員が狭いため、交通に支障をきたしている。さらに補助306号線の全面開通や日暮里・舎人ライナーの開通により交通量の増加は必至である。今後の整備の見通しについて、区の見解を問う。

詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせて「利用ください」



### 荒川区らしい観光振興策で、活力と賑わいのあるまちへ、成年後見制度について



瀧口 学  
(民主・市民)

荒川区らしい観光振興策で、活力と賑わいのあるまちへ

「ウィジツ荒川」構想の策定、観光ウェブサイトの立ち上げや「荒川区ウォーカー」のようなタウンガイド誌の発行など、区内外へのアプローチを強化すべき。

提案の趣旨を踏まえ、あら

ゆる機会を捉え、区の観光情報を内外に発信し、観光客の誘致、地域の活性化につなげていきたい。

回遊性を高めるため、食文化としての「もんじゃ」を観光資源化してはどうか。

「もんじゃ」を観光資源ととらえた情報発信も大切なこと



竹内 捷美  
(自民党)

### 「聴覚障害者相談ネットワーク」と緊急時支援体制、日暮里駅南口「紅葉坂跨線橋」の架け替えについて

「聴覚障害者相談ネットワーク」と緊急時支援体制について

聴覚障害者の要望に対応していくために、専門的な対応ができる相談員による相談支援が必要である。聴覚障害者の自立を支援する事業者と連携して、相談支援ネットワーク事業を活用し、障害の状況や内容に応じて相談ができる体制を確保してはどうか。また、災害時には災害要援護者を集中的に支援する避難所の指定や聴覚障害者向けに電光掲示板や携帯型電光文字表示機などの情報機器を配備すべきと考えるがどうか。

手話通訳者派遣や要約筆記者派遣など、相談支援事業の充実を図ったところだが、今後、専門

資格を持ったソーシャルワーカーによる相談支援体制の構築が必要と認識しており、区内の聴覚障害者団体とも協議し、「聴覚障害者相談支援ネットワーク」の活用方法を検討していく。緊急時の支援については、災害時要援護者は社会福祉施設等に二次避難所を開設し、優先的に避難・収容することとしている。提案の情報機器の整備は、都の補助制度を活用してアクロスあらかわに試験的に設置し、その効果を検証していきたい。

資格を持ったソーシャルワーカーによる相談支援体制の構築が必要と認識しており、区内の聴覚障害者団体とも協議し、「聴覚障害者相談支援ネットワーク」の活用方法を検討していく。緊急時の支援については、災害時要援護者は社会福祉施設等に二次避難所を開設し、優先的に避難・収容することとしている。提案の情報機器の整備は、都の補助制度を活用してアクロスあらかわに試験的に設置し、その効果を検証していきたい。

日暮里駅南口「紅葉坂跨線橋」の架け替えについて

日暮里駅南口の紅葉坂跨線橋、通称紅葉橋は、荒川区と台東

認識しており、PRについてもさらに力を入れていきたい。

観光ボランティアによる高いガイドを提供するために、いかに制度を充実させていくのか。

ボランティア検定や自主的な研修への助成などを検討しており、さらに質の高いガイドの養成・支援に努めていく。

成年後見制度について

成年後見制度に対する需要の増加が予想される中、社会福祉協議会がモデル事業として実施している法人後見事業に対する助成を拡充すべきと考えるがどうか。

社会福祉協議会では、法人後見事業の本格実施を検討しており、区を結ぶ橋として、昭和3年に当時の鉄道省により架設されたといわれている。その後、昭和60年にJR日暮里駅の南口改札口の開設に伴い、幅員4メートルに改修され、これまで塗装、補修工事などが何度か行われているが、老朽化が目立ち、景観的にもマイナス要因が多く見られる。安全性を確保するため、また、バリアフリー化を実現するためにも、早期に架け替えをすべきと考えるがどうか。

区では、維持管理に努め、安全性を確保してきたが、架設から80年以上が経過し、老朽化が進んでいる。このため、安全性を考慮し、来年度に手すりや路面等の補修工が必要と考え、整備に向けてJRと協議を重ねている。架け替えは、耐震性の確保やバリアフリー化の視点、京成線南口開設等の課題もあり、今後ともJR及び京成電鉄と積極的に協議していきたい。

その他の質問項目

「本との出会い」と活字文化の在り方について

「ボランティア教育」の推進

区としては法人後見事業の周知に努めるとともに、社会福祉協議会と協議しながら、事業の拡充に向けた支援を検討していきたい。

都では社会貢献型後見人育成に向けた講習を実施しているが、区民後見人(社会貢献型後見人)の育成について区の見解を問う。

後見人の裾野を広げることが重要であり、都の事業の普及啓発とともに、社会貢献型後見人育成の支援策を検討していく。

その他の質問項目

産学官協同の商店街活性化策

出産・子育て環境の一層の充実

「マイホーム借上制度」について

「自転車専用レーン」と交通ループ強化について

地域活性化に向けた「もてなし駅」設置について

「もんじくりの街 あらかわの再生」について

「建設廃材の活用」と需要の拡大について



### 常任委員・特別委員の選任等について

### 議案の審議結果(続き) 平成20年第4回定例会

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)					結果	議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)					結果
	自民	公明	民主	あらかわ	尚			自民	公明	民主	あらかわ	尚	
第60号 荒川区立清里高原ロッジの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第73号 荒川区立荒川老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第61号 荒川区民会館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	可決	第74号 荒川区立荒川授産場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第62号 日暮里サニーホール指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	可決	第75号 荒川区立尾久生活実習所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第63号 荒川区ムーブ町屋の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	可決	第76号 荒川区立尾久生活実習所分場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第64号 東日暮里三丁目ひろはる館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第77号 荒川区立障害者グループホームの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第65号 荒川山吹ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第78号 荒川区立精神障害者地域生活支援センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第66号 荒川区立南千住中野在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第79号 荒川区立障害者福祉会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第67号 荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第80号 荒川区民住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
第68号 荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第81号 南千住駅東口自転車等駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	可決
第69号 荒川区立西尾久西都在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第82号 センターまちや自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	×	可決	
第70号 荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第83号 荒川区土地開発公社定款の一部変更について	○	○	○	○	○	可決
第71号 荒川区立西日暮里在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第84号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
第72号 荒川区営住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決	第85号 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決

意見書提出

本定例会では、2件を可決し関係機関に提出しました。

(東京都知事あて)

都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の継続に関する意見書

「食の安全確保」への取り組み強化を求める意見書

採択した請願・陳情

採択

- ・東京電子自治体共同運営サービスにおける入札参加資格申請の代理申請システムの構築及び行政書士用電子証明書を使用可能とするシステムの構築に関する請願
- ・有老人ホーム入居者を除した荒川区健康診断の改善を求める陳情
- ・小規模住宅用地の都市計画税の軽減措置の継続についての意見書の提出を求める請願
- ・商業地等における固定資産税・都市計画税の負担水準の上限を65％に引き下げる減額措置の継続についての意見書の提出を求める請願
- ・小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続についての意見書の提出を求める請願

趣旨採択

- ・震災対策要綱を早期に求める陳情



# 新春を迎えて

## 各会派新年の抱負

### 自民党

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は「百年に一度の危機」と呼ばれた世界同時不況の中、区民にはどこか安心を実感できない年となりました。景気回復の望まれる本年、新たな年を迎えました。11月の区長選挙では、4年間の実績を評価して推薦した西川太郎区長が再選されました。また同時に行われました区議会補欠選挙では、公募で候補者となった明戸真弓議員が初当選いたしました。

区内商工業の活性化は喫緊の課題です。これらに対処するために区では独自の活性化支援を行っています。融資制度の充実・区内事業者優先の契約制度の推進、産学官連携で新規産業の創設を促しています。

### 「財政改革」

私たち自民党を中心として、大胆な人員削減や民間委託など、不問の行政改革を推進した結果、区の財政状況が大幅に改善してまいりました。これは、マスコミに報道されたとおりです。2月半ばから始まる予算委員会においても、引き続き、財政改革を推進し、真に必要な政策に特化した予算編成に努めてまいります。

### 「新型インフルエンザ対策」

全国で64万人を超える犠牲が予想される新型インフルエンザが猛威を振るった場合を想定し、全区民に行き届くマスクの備蓄や除圧テントの整備を全国に先駆けて推

### 「福祉」

私たち自民党を中心に「後期高齢者医療制度」の見直しをさせてきましたが、引き続き改善に向けて国へ働きかけます。また、待機者が大勢いる特別養護老人ホームを2箇所新しく実現してまいります。障害者雇用制度の拡充を引き続き積極的に取り組んでまいります。

### 共産党

新年明けましておめでとうございませう。

昨年は、「高齢者差別の医療制度」廃止、「偽装請負」若者使い捨てなど大企業が無駄を許さない世論と運動が大きく広がりました。いま米国発の金融危機は、区内経済と区民の暮らしに深刻な影響を与えています。日本共産党は、国会論戦とともにトヨタやキヤノンなどと直接交渉し是正を求めてきました。引き続き、雇用を守るために全力をつくします。

区民の声で区政を動かすことをモットーに、区立幼稚園全園で3歳児保育実施、妊産婦健診助成拡大、保育園など第3子以降無料化、就学援助の基準緩和、70歳以上高齢者の半額入浴など実現、高齢者家賃助成も検討がはじま

### 公明党

新年を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。

いま日本は米国発の金融不安により、百年に一度と言われている世界経済の混乱の余波を受け、物価高をはじめ、庶民の生活や中小企業経営に大きなダメージが顕在化してきております。

このような深刻な経済危機を迎えた現在、まさに政治は「政局」より「生活」が大事との視点に立ち、「国民生活を守るのは公明党」との決意で身近な課題に真剣に取り組んでまいります。

私達公明党区議団は、常に生活者の声を真摯に受け止め、次の重点政策を推進してまいります。

- ① 特別養護老人ホームの増設
- ② 介護施設及び介護従事者への支援強化
- ③ 高齢者の住環境の充実(家賃補助等)
- ④ 児童保育の小学校施設内への設置及び全小学校に子供の居場所づくりの拡大
- ⑤ いじめ・不登校対策の強化
- ⑥ 安全・安心な街づくりの促進
- ⑦ 新産業(起業・創業)の支援強化
- ⑧ 中小企業融資枠の拡大
- ⑨ 浸水対策として、「下水道幹線総合整備計画」の策定、等々
- ⑩ 荒川区議団6名は、「大家と共に」の立憲精神のもと、個人の幸福と社会の平和構築に向け、皆様から信頼される議員として、「生活者の目線に立った政策の実現」のため全力で取り組んでまいります。

### 民主・市民

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は原油高騰、米国大手金融機関の破綻に端を発する世界同時金融危機が日本を襲い、また、食品偽装の発覚などにより国民が不

### 元気クラブ

「百年に一度の危機」にさらされる区民生活。「政権交代」では出来ない政治の根本的転換で荒川区の未来を拓いていきたいと思います。

### 尚志会

日本の伝統・文化・誇りを守り、正直者が馬鹿を見ない社会へ！

「環境」①緑を増やす②雨水利用③ごみの減量・リサイクル  
「福祉」①高齢者や障がい者の就労と生活支援②認知症対策③医療と施設・在宅介護の連携と充実④

### 正論の会

今年も区政のムタを厳しくチェックし、限られた財源を区民本位に使い、未来を託す子供達の教育環境整備に全力で取り組めます。

### 各会派の構成

<b>自由民主党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 菅谷 安男 副幹事長 小坂 眞三 副幹事長 齊藤 泰紀 副幹事長 明戸真弓美 副幹事長 茂木 弘 副幹事長 若林 清子 副幹事長 竹内 捷美 副幹事長 服部 敏夫 副幹事長 並木 一元 副幹事長 北城 貞治 副幹事長 守屋 誠 副幹事長 鳥飼 秀夫 副幹事長 須永 京子 副幹事長 志村 博司	<b>公明党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 萩野 勝 副幹事長 保坂 正仁 副幹事長 吉田 諒子 副幹事長 中村 尚郎 副幹事長 戸田 光昭 副幹事長 武藤 文平	<b>日本共産党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 横山 幸次 副幹事長 小林 行男 副幹事長 安部キヨ子 副幹事長 斉藤 邦子 副幹事長 相馬 堅一 副幹事長 小島 和男	<b>民主党・市民の会</b> 荒川区議会議員団 幹事長 瀬口 学 副幹事長 瀨野 喜代 副幹事長 清水 啓史	<b>あらかわ元気クラブ</b> 荒川区議会議員団 幹事長 斉藤 裕子	<b>尚志会</b> 荒川区議会議員団 幹事長 小坂 英二	<b>あらかわ正論の会</b> 荒川区議会議員団 幹事長 浅川 喜文
---	--	---	---	---	-------------------------------------	--